

日本透析医会研修セミナー
透析医療における Current Topics 2016 (広島開催)

参加申込について

【開催概要】

開催日：平成 28 年 11 月 6 日（日）
会 場：リーガロイヤルホテル広島

【お申し込み方法とご参加までの流れ】

- 参加申込書に必要事項をご記入の上、申込受付期間内に FAX (03 - 3255 - 6474) にて事務局宛にお送りください。
- 研修セミナー当日の約 14 日前に、参加申込書にご記入いただきました住所宛に参加証引換券（はがき）をお送りいたします。研修セミナー当日の 7 日前までに、お手元に参加証引換券（はがき）が届かない場合には、必ず事務局までご連絡ください。
- 研修セミナー当日は、参加証引換券をご持参の上、参加費（1,000 円）を受付にてお支払いください（事前振込ではありません）。

【申込受付期間】

平成 28 年 9 月 1 日（木）～10 月 7 日（金）

【お申し込みにあたってのご注意】

- 定員（250 名）に達した場合は、申込受付期間内であっても受付を締め切らせていただきますので、ご了承ください。申込受付期間を過ぎてご参加をご希望の場合は、電話もしくはメールにて事務局にお問い合わせください。
- 複数名でご参加の場合は、お手数ですが、人数分の申込書をご用意ください。

【お問い合わせ】

公益社団法人日本透析医会 事務局

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1 - 15 - 2 淡路建物ビル 2 階

T E L : 03 - 3255 - 6471

F A X : 03 - 3255 - 6474

E-mail : info@touseki-ikai.or.jp

U R L : <http://www.touseki-ikai.or.jp/>

送信先：公益社団法人日本透析医会事務局

FAX : 03 - 3255 - 6474

申込受付期間：平成 28 年 9 月 1 日（木）～10 月 7 日（金）

日本透析医会研修セミナー
透析医療における Current Topics 2016（広島開催）

参加申込書

下記全項目をご記入の上、FAXにてお送りください。

【参加者】

フリガナ	
氏名	
所属施設	
職種	<input type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> 臨床工学技士 <input type="checkbox"/> その他（ ）

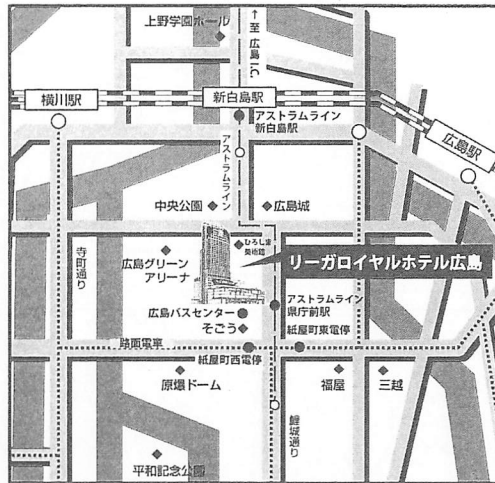
【連絡先】（参加証引換券（はがき）の送付先）

<input type="checkbox"/> 所属施設 <input type="checkbox"/> 自宅	
住所	〒 _____ _____
電話	(<input type="checkbox"/> 所属施設 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 携帯)

※ 電話にて確認をさせていただく場合がございますので、平日の日中に連絡がとれる電話番号をご記入ください。

参加される方々へ

1. 参加費 1,000 円
2. 定員 250 名
※定員になり次第締め切らせていただきますので、ご了承ください。
3. 参加申込
 - ご参加には、事前申込みが必要です。
 - 事前申込みは、FAX にて受付いたします。詳細はホームページをご覧ください。
 - 日本透析医学会会員以外の方もご参加いただけます。
4. 単位取得について
 - ① 一般社団法人日本透析医学会の認定医制度 (3 単位)
 - ② 6学会合同認定「透析療法指導看護師」の受験資格ポイント (4 ポイント)
 - ③ 透析療法合同専門委員会「透析技術認定士」認定更新点数 (5 点)
5. 呼び出しについて
会場内での呼び出しは緊急の場合以外は致しません。



リーガロイヤルホテル広島
広島市中区基町 6-78
TEL 082-502-1121 (代)

問い合わせ先

公益社団法人日本透析医学会 事務局
TEL : 03-3255-6471 FAX : 03-3255-6474
E-mail : info@touseki-ikai.or.jp
URL : <http://www.touseki-ikai.or.jp>

日本透析医学会研修セミナー 透析医療における Current Topics 2016 (広島開催) 「日常臨床のピットフォール」

日 時 平成 28 年 11 月 6 日 (日) 9 : 00 ~ 16 : 20
場 所 リーガロイヤルホテル広島
「ロイヤルホール」

公益社団法人 日本透析医学会

開催の趣旨

新たな命を生み出す透析療法

重度の腎機能障害者の多くは、わが国では維持透析療法に身を委ねることになる。

それぞれの患者に適合した透析方法（① 患者の生命予後を改善する、② より高いADL・QOLの達成を目指す、③ 透析施行中、患者ができる限り少ない苦痛（症状）で経過できるなど）が模索されることになるが、この望ましい透析方式は一度決めたら済むというのではなく、患者の状態によって絶えず変動するものであるという悩ましさを伴っている。血液透析患者であれば、週3回の来院時の全身状態のチェックが透析条件の変更などに極めて重要となる。しかも、その変更はスタッフによかれとなるだけではなく、患者を納得・満足させるものでなければならない。維持血液透析の国際比較であるDOPPSの研究成果で、日本の血液透析患者の生存率が欧米のそれに比較して著しく良好であるとされたのは2003年のことであった。このわが国の好成績の背景には、1) 透析開始時に重篤な心血管合併症が少ないこと、2) 患者の療養態度が良いこと（つまり、透析をスキップしない・順守すべき諸事項に忠実であること）3) 透析スタッフの親身なケア、4) 緩徐な血液透析などがあるとされている。この報告があった2003年当時に較べると日本の透析患者背景は大きく変貌したことは私共のよく認識するところであり、1) 透析新規開始患者の高齢化、2) 最頻度の基礎疾患が糖尿病性腎症や腎硬化症になったこと、つまり、種々の程度に心血管障害が既に存在していることなどが透析療法の施行を次第に難しくしてきている。一時、透析療法が完成期に達したかの感を持ったこともあったが、治療対象となる患者の背景がこのように大きく変化するとあらゆる分野での微調整が余儀なくされる。

今日的関心事である6演題とランチョンセミナーが予定されているが、ご傾聴のうえ活発な質疑応答を期待したい。今回の研修セミナー広島開催に際して、当地の透析医学会の方々からいろいろな援助を得たことに深謝したい。最後に熊本・大分の大災害で苦勞された透析スタッフ・透析患者の皆さんの奮闘に敬意を表し、一日でも速やかな復興を心から祈念したい。

研修委員会委員長 大 平 整 爾

プログラム

9:00-9:10 開会の辞 秋澤忠男（日本透析医学会会長）
開催の趣旨 大平整爾（研修委員会委員長）

<午前の部>

9:10-10:00 演題 バスキュラーアクセス穿刺トラブルの原因と対策—エコーの有用性—
演者 春口洋昭（飯田橋春口クリニック）
司会 室古典義（JCHO 千葉病院）

10:10-11:00 演題 透析患者における血圧管理
演者 平方秀樹（福岡腎臓内科クリニック）
司会 頼岡徳在（広島腎臓機構）

11:10-12:00 演題 死因としての呼吸器感染症
演者 原田孝司（長崎腎病院）
司会 秋葉 隆（関川病院）

<午後の部>

13:10-14:00 演題 認知症の診断—良質の物忘れとの鑑別—
演者 渡辺俊之（東海大学）
司会 伊丹儀友（伊丹腎クリニック）

14:10-15:00 演題 災害への備え—経験に学ぶ災害対策—
演者 山川智之（白鷺病院）
司会 鈴木正司（信楽園病院腎臓内科）

15:10-16:00 演題 透析患者の転倒とその予防
演者 嶽肩美和子（聖路加国際病院 QI センター医療安全管理室）
司会 佐中 孜（江戸川病院生活習慣病 CKD センター）

16:10-16:20 閉会の辞 宍戸寛治（研修委員会担当理事）

※各講演後に10分間の質疑応答あり

12:10-13:00 【ランチョンセミナー】
演題 透析患者のうつ病、認知症とその予防—最近の知見を踏まえた対応—
演者 堀川直史（埼玉医科大学かわぐえクリニックメンタルヘルス科）
司会 大平整爾（札幌北クリニック）